

依存症専門クリニックにおける ギャンブル障害の取り組み

2021.2.26

雷門メンタルクリニック

精神科医師 伊波真理雄

ギャンブル制御困難で生じる「非行」

- ギャンブルするために借金・浪費をする
- ギャンブルによる深刻なリスクを楽観して、身近な人から注意される
- ギャンブルや借金のこと頭が一杯で、感情麻痺や情緒不安定が生じる
- 無責任な行動で信用が失墜し、給料・小遣い・身分証を管理される
- ギャンブルや債務を隠すための嘘をつく
- ギャンブルを止めても、また戻ってしまう
- 他人の金や生活費に手を出し、失踪する

「非行」ギャンブラーの言動パターン

- ギャンブルそのものは「悪いことではない」
- 帳尻が合えば誰にも迷惑をかけなくて済むので、売掛金を少しの間だけ自分が使っていてもちゃんと返せば問題ない、と**楽観する**
- お金が足りなくなったことを、配偶者の管理や想定外の出来事のせいにし、**責任を認めない**
- 「借金しても、働いて稼げば返せるから」と考え、**家庭生活を犠牲**にしてバイトを増やす
- 自転車操業で**場当たりの**に行動し、いきづまると「こんなはずでは無かった」とパニックを起こし思考や感情がフリーズする

ギャンブラー家族の悪循環

- 利息・督促に対して嫌悪・恐怖が強く、多重債務を**すぐに一括返済**しようとする
- 本人のカード・身分証を取り上げ、小遣い制で金銭管理し、肩代わりした債務を返済させる
- 反省を期待して「今度こそやめてくれないと困る」と**責め続ける**
- 原因探しや経済的奔走に明け暮れ、「ギャンブルをやめさせよう」とする努力がすべて報われず、慢性的に行きづまった結果、抑うつ・無力感などに押し潰され**感情が麻痺**する

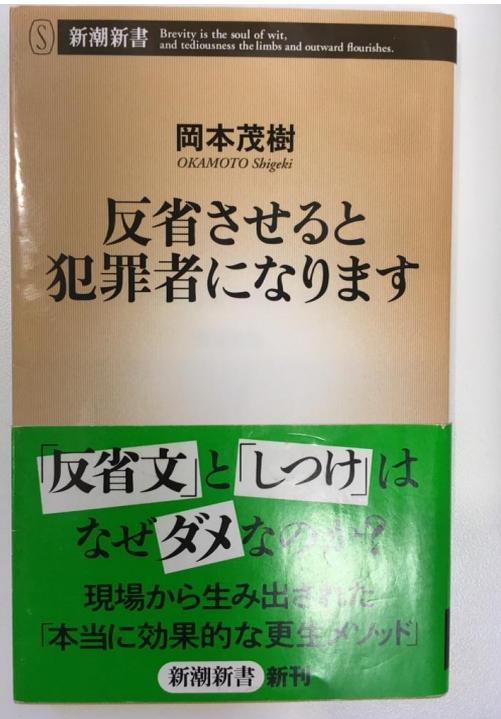
『反省させる』×
『リスクを学ぶ』○

罪悪感を持たせようとする、「悪いことをしました」と反省から始まり、根拠の無い「二度としません」で終わるため、形式化して思考停止に陥ってしまう

非行や犯罪は「割に合わない、リスクの高い行動」であることを理解し、修正することを学ぶ必要がある

罪悪感是否認を強化してしまい「学び」を邪魔する

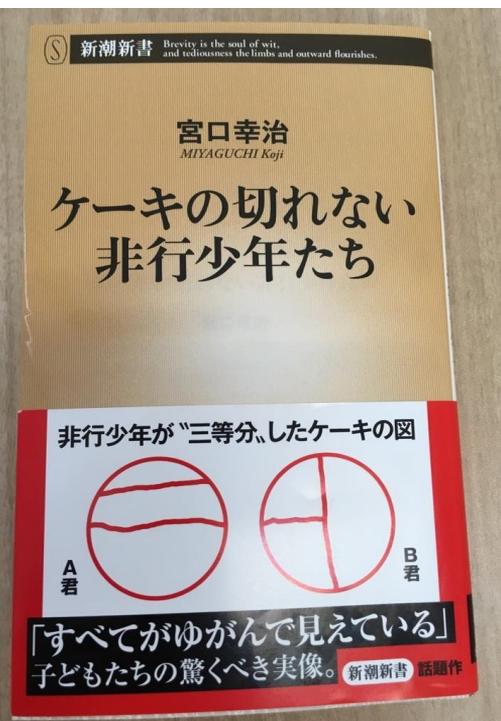
「ギャンブルは悪いことではないが自分には害がある」



ギャンブルから生じる問題を**非行**と捉え、生活能力の評価・支援をプログラム化する

反省を求めるプログラムにはほとんど効果がないことをふまえ、知的能力や社会性の弱さに基づくトラブルを積み重ねてきた非行少年たちの実情とその対策を提案している

認知機能や感情統制の弱さ、融通の利かなさ、対人スキルの乏しさ、不適切な自己評価など、**非行をくり返すギャンブラー像と驚くほど重なる**



クリニックでの取り組み

- 回復施設ワンデーポートからセミナー協力依頼
- 自助グループGA、GAMANONにクリニックの集団療法室を有償で貸し出し、毎週開催した
- ギャンブル家族教室を毎月運営した
- ギャンブル問題対策で「回復研究会」を立ち上げ、『病的ギャンブラー救出マニュアル』(PHP)を共同執筆し出版した
- 厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業「病的ギャンブリング(いわゆるギャンブル依存)の概念の検討と各関連機関の適切な連携に関する研究」分担班参加し、調査に協力

過去5年のギャンブル相談実績

- 東京都立精神保健福祉センターでの依存症の家族教育や事例検討助言を25年、スタッフは20年インテーカーとして参加中
- 平成17年は年間で75件のギャンブル相談あり
- 平成28年は60件
- 平成29年からは3年連続で38件
- 令和2年はコロナ禍で初診枠を抑え、20件
- 8年間、各リハビリ施設での利用者モニタリングを月1回継続中

主な連携先

自治的・集中的プログラム

- ・ 山谷マック(ワンステップ)
- ・ みのわマック(RDデイケアセンター、ロイス、オ・ハナ)
- ・ リブ女性ハウス
- ・ サルビア
- ・ 東京ダルク(セカンドチャンス)
- ・ 川崎マック(K-GAP)
- ・ ルーツ
- ・ ワンデーポート
- ・ 琉球ガイア

家族への教育的サポート

- ・ 都立精神保健福祉センター
- ・ 各区の保健センター

その他の個別的なサポート

- ・ 浦和まはろ相談室
- ・ 東京インターナショナルサイコセラピー
- ・ セルフサポート研究所
- ・ 各就労支援事業所
- ・ 障害者職業センター
- ・ ギャンブリング障害を支援する司法書士事務所

RDデイケアセンター外観



RDプログラムセッションルーム



施設入所を検討すべきケース

- **家庭崩壊が深刻な場合**・・・家庭内窃盗が頻発、債務解消に用立てたお金まで使い込む、など
- **職場との関係がズブズブな場合**・・・会社から横領したのに「返してくれれば今回は見逃す」と言われ、丸抱えにされている
- **家族が問題を否認している場合**・・・「ヨメの性格がきつすぎるから息子はギャンブルに逃げているんだ」、「別の仕事に就けば心機一転できると思う」、「ギャンブルで失ったお金を少しでもとり戻さなければ」

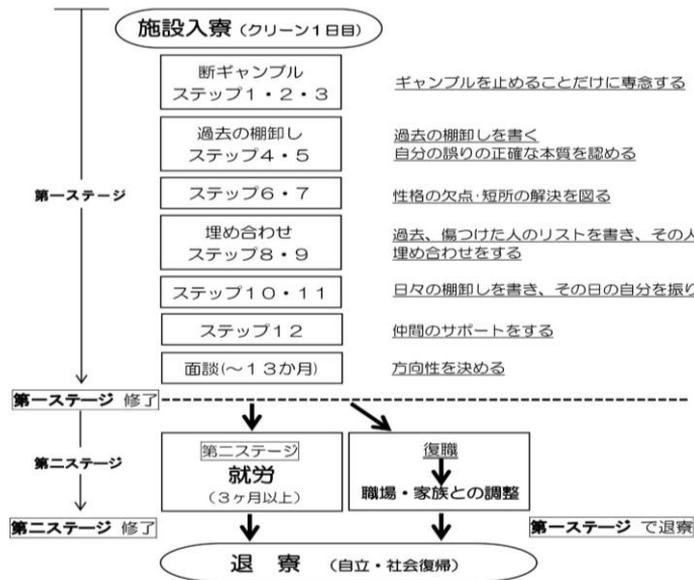
山梨のグレイスロード・デイケアセンター



プログラムスペース



回復プログラムのガイドライン



パンフレット 最後のページにある 連携団体

①ギャンブル問題について解決方法を発信する団体

②自立支援法の手続きや、精神症状の管理に協力してくれる医療機関

③受任通知により督促が来ないようにしたり、債務整理・自己破産の手続きで生活再建を支援する法律事務所

④その他、税理士や社会保険労務士による手続き相談

ギャンブル依存症問題啓発活動団体

- 団体名 一般社団法人 ギャンブル依存症問題を考える会
- 代表者 田中 紀子
- 所在地 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-1
茅場町タワーレジデンス 1909号室
TEL 03-3555-1725 FAX 03-6280-5833

医療機関

- 団体名 くぬぎクリニック (精神科・心療内科)
- 院長 奥石 郁夫
- 所在地 〒400-0024 山梨県甲府市北口1丁目1-8 甲府北口ビル3階
TEL 055-251-0383
- 団体名 公益財団法人 住吉偕成会 住吉病院 (精神科)
- 副院長 大河原 昌夫
- 所在地 〒400-0851 山梨県甲府市住吉4丁目10-32
TEL 055-235-1521

法律事務所

- 団体名 丸山公夫法律事務所
- 弁護士 柴山 聡
- 所在地 〒400-0031 山梨県甲府市中央1-8-6 今井ビル3階
TEL 055-235-1731 FAX 055-235-1759
- 団体名 小野法律事務所
- 弁護士 小野 正毅
- 所在地 〒400-0031 山梨県甲府市中央1-7-10 内外ビル2階
TEL 055-236-5000 FAX 055-236-5002

税理士事務所

- 団体名 内田幸雄税理士事務所
- 税理士 内田 幸雄
- 所在地 〒404-0043 山梨県甲州市塩山下於曾1384-2
TEL 0553-33-8511 FAX 0553-33-8512

労務士事務所

- 団体名 高安労務経営事務所
- 社会保険労務士 高安 慎司
- 所在地 〒400-0007 山梨県甲府市美咲1-3-11
TEL 055-253-9414 FAX 0553-33-8512

リハビリ施設では

- 入院とは違い、集団生活を通してギャンブリングから長期間(6ヶ月～3年)離れることができる
- スタッフは生活能力や対人特性を把握し、悪循環の背景を見極めている
- 周りの人がギャンブルについて率直に話すのを聴き、自分のギャンブル歴のふり返りができる
- 過去の行動・結果に反省を求められない(否認する必要がなくなり、現実が見えてくる)
- 自立の前に特性・能力に合わせた環境や生活スタイル(くらし・よか・しごと)を整えられる

リハビリ施設での長期観察

- 運動や行事参加を通し情緒をとり戻したり、質の良い服を買う、おかずを一品増やすなど、「ギャンブル以外でお金を遣う」訓練もする
- 生活目標を立てて金銭を管理する力やコミュニケーション力が不十分なメンバーが多い
- 葛藤が生じても「やり過ごす」回避型のタイプが多く、自分の問題と向き合えない
- 物質使用障害より否認が強く、生活課題をスタッフが指摘しても取り組もうとしない
- **ADHDのみ⇒自立を、ASD傾向は就労支援**

各機関への要望

- 「非行」の解決は**特性確認と適応支援**が有効
- 虐待と同様に社会全体の問題と捉え、家庭内のSOSに介入するキャンペーンをして欲しい
- 医療・相談機関は成育歴聴取・各検査を徹底して、知的・神経発達症などを鑑別して欲しい
- 年齢制限など法令の徹底と見直し、各事業者の違反や詐欺団体を摘発して欲しい
- 大規模な調査を通してエビデンスを積み上げ、画一的な生活指導や就労支援など、問題解決に**無効なプログラムを明らかに**して欲しい

まとめ

- ギャンブル関連の「非行」には、「頭ごなしにやめさせよう」としない」「反省を求めない」の方針で、「ギャンブル以外のリスク」を学ぶよう支援する
- ギャンブルにのめり込む**背景にある生きづらさを、詳細なインタビューと、施設での集団適応観察で確認**して、個別支援プログラムを適正化している
- うつ病にギャンブル障害を重複した事例に対し、神経発達症を背景としたパチスロへののめり込みと診断変更し、ギャンブル以外の生活リスクにも焦点を当て、自己理解を支援し長期のアブスティナンスを得た